



復興庁

Reconstruction Agency

新たなステージ 復興・創生へ

記者発表資料

平成 29 年 10 月 17 日

復興庁宮城復興局

インバウンド誘客促進のため観光復興の提案を採択 (平成 29 年度訪日外国人観光客向け土産品開発事業)

○東日本大震災により大きな影響を受けた東北の観光業も、平成 28 年の東北の外国人宿泊客数が震災前の水準を上回るなど観光復興は着実に進展しているところです。

○他方、震災による被害が大きかった沿岸部においては、外国人旅行者の受入体制が不十分なところが多く、底上げを図る必要があります。

○本事業において、宮城県、特に被災地沿岸部の事業者が連携して行う、地域の魅力を発信できる統一的なコンセプトの下での、特産物や伝統文化を取り入れた、魅力ある訪日外国人観光客向け土産品開発を支援することにより、インバウンド対応可能な地域資源の増加を図ります。

今回、平成 29 年 9 月 12 日から平成 29 年 10 月 3 日までの期間で本事業に係る提案の公募を行いました。

応募提案について、審査委員会において厳正な審査を行った結果、下記の提案を選定いたしましたので、お知らせいたします。(詳細については別紙参照)

平成 29 年度訪日外国人観光客向け土産品開発事業

問合せ先：

復興庁宮城復興局復興特区・観光班

木内、三本

電話番号 022-266-2166

平成 29 年度訪日外国人観光客向け土産品開発事業選定案件

提案名：平成 29 年度訪日外国人観光客向け土産品開発事業

事業者：株式会社ジェイアール東日本企画

概要：宮城県塩竈市の事業者が連携し、訪日外国人観光客向けに魅力ある土産品の商品開発を行うため、数々の実績を持つアドバイザー・バイヤー・デザイナーと事業者が一体となり、商品と地域のストーリーをコンセプトへ昇華させ、既存商品の改良・ブラッシュアップを行い、かつ外部視点を取り入れ、魅力ある土産品の開発を行う。